



# ふくしま

児童数 431名

文責 校長 柿原 敬道

- 【ふ】 ふくしまの子どもは
- 【く】 くり返し体をきたえる子ども
- 【し】 しっかり考え、伝え合う子ども
- 【ま】 まわりを思いやるやさしい子ども

## 前期終業式『あゆみ』を渡しました

平成29年度前期が終了しました。今日一人ひとりに『あゆみ』を渡しています。私は、前期を「ふくしま」で振り返ってみます。

- 【ふくしまの子ども全体をまとめて振り返ると】
- 【くり返し体をきたえる子ども】

朝登校するとすぐに運動場で遊ぶ子ども達がたくさんいます。フリータイムや昼休みに運動場を見るとたくさん子ども達が遊んでいます。しかし、「外で元気に遊んでいますか」という質問に「はい」「だいたい」と答えた子どもは全体の87.1% (375人)でした。これからインフルエンザや風邪が流行る時期にもなっています。規則正しい生活をして、運動による体力作り等に励んでほしいと思います。

- 【しっかり考え、伝え合う子ども】

授業の様子を毎日見て回りますが、どの学級でも集中して学んでいる姿を見ることができました。児童アンケートによると、「話をしっかり聞くこと」は96.3%の子ども達ができていると答えています。「自分の考えを書くこと」ができていると答えた子どもが89%です。「発表、質問・意見を言うこと」は、74.4%でした。このことから、しっかり考えて自分の考えをつくることはできているけれど、「伝え合う」ことはまだ苦手な子ども達が4人に1人ほどいるということが分かります。考えを交流し合って、さらに深まった考えを作り出していくことを目指して、後期も学びあってほしいと思います。



- 【まわりを思いやるやさしい子ども】

なんと言っても、「あいさつ」が上手にできるようになった子ども達がたくさんいます。出会った人が気持ちよくなるあいさつができてきました。そして、アンケートの結果によると「友達も自分と同じように大切にしている」子ども達が97.7%でした。まわりを思いやる優しい子どもがたくさんいる福島小学校でした。

## 264人のあいさつ名人

校長室前の『あいさつ名人』の写真を数えてみると264人でした。

- ☑あいてを見て立ち止まって
- ☑いつでもどこでもだれにでも自分から先に
- ☑さわやかにはじけるようにニコリと
- ☑ながりあおう名前を呼んで心を込めて

特に、上手になったことは『にっこりと』『名前を呼んで』といったあいさつの仕方です。

『立ち止まって』ができる子ども達も増えてきました。毎月来ていただくあいさつボランティア大使の平岡先生からも「明るい、さわやかなあいさつができています。福島小のあいさつは日本一です。」とたくさんほめていただいています。



## 歌舞伎教室

5日(木)に、前進座の早瀬栄之丞さんと新村宗二郎さんが福島小学校に来られました。そして、6年生に歌舞伎教室を行っていただきました。子ども達は歌舞伎の動き方を一緒にしてみたり、新聞紙で作った刀で立ち回りをしたりしてとても楽しそうでした。



おりなす八女で、12月14日に、来ていただいたお二人が出演される前進座特別公演「たいこどんどん」が行われるそうです。

## FM八女で放送されます

『FM八女♪ありがとうプロジェクト』の収録がありました。6年2組全員がいろいろな方へ『ありがとうメッセージ』を送っています。ぜひ、お聞きください。

- 10月10日(火) 13:08頃～、21:00頃～
- 10月14日(土) 12:40～
- 10月15日(日) 12:40～

〈6年1組は後日放送予定です。〉

